PT 三脚スタンド式スクリーン(携帯タイプ)
PT(P タイプ)三脚スタンド式スクリーン(傾斜機能付)



取扱説明書

はじめに

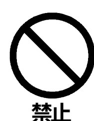
- 製品が間違っていないか、付属品がきちんとそろっているか、お確かめください。
- この説明書と添付の保証書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
  その後は大切に保管しておいてください。
- 製造番号は品質管理上重要です。必ず製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日、取扱店名」等の記入をお確かめください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、必ずお守りください。

⚠ 警　告	この表示欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人的損害や物的損害の可能性があります。
⚠ 注　意	この表示欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重症を負う可能性があります。

⚠ 警　告


禁止

ストーブ等火器類の近くでは使用しない

転倒による火災の恐れがあります。

⚠ 注　意


強制

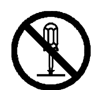
使用する際は必ず運用責任者や管理者等の指示に従いおこなう

使用方法、安全項目等を十分に把握せずに使用すると、思わぬ事故の恐れがあります。


強制

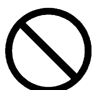
スクリーンにぶらさがったり、物を掛けたりしない

本体が転倒、またはスクリーンが脱落する恐れがあります。


分解禁止

分解はしない

分解やねじ類をゆるめると、本体の脱落する恐れがあります。修理や点検は、取扱店または当社に相談して下さい。


禁止

不安定な場所では使用しない

段差部や傾斜部等に設置すると転倒する恐れがあります。


強制

水平にねかせて保管する

立てかけて保管すると転倒する恐れがあります。


禁止

屋外や風の当たる場所では使用しない

風等により転倒する恐れがあります。

取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は一切責任を負いません。

お取扱上の注意

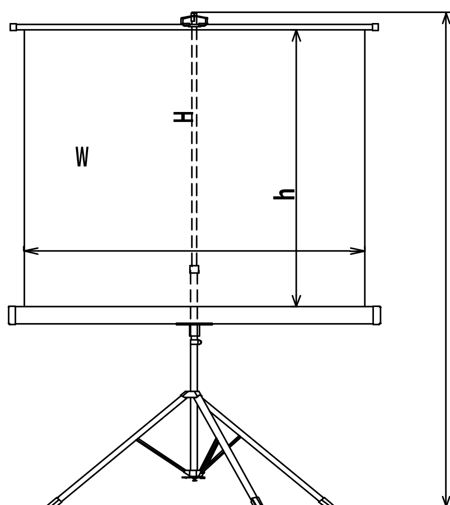
この製品は映写効果をあげるため、スクリーン表面に特殊な加工が施されています。汚れや傷がつきますと映写効果を損なうことがありますので、次の点にご注意の上ていねいにお取り扱いください。

- スクリーン表面には手を触れないでください。
- スクリーン上に文字や絵を描いたりしないでください。
- 固い物でスクリーンをこすったり、ひっかいたりしないでください。
- 表面のホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふくか、柔らかいブラシで払ってください。
  水で湿らせた布やベンジン、シンナー、アルコールなど薬品類は使用しないでください。

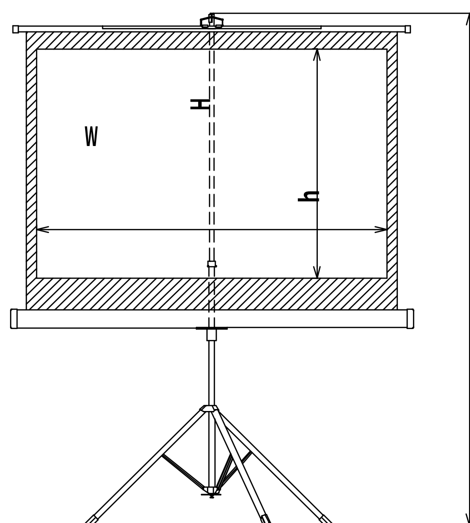
※ スクリーンは使い始めのうちは臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。臭いが強い場合はスクリーンをお使いにならない時にも、スクリーンを引き出した状態で継続して換気をおこなってください。(臭いが気にならなくなるまで数日かかる場合があります。)

仕　　様

PT-□□□□



PT-□□□V
PT-□□□H



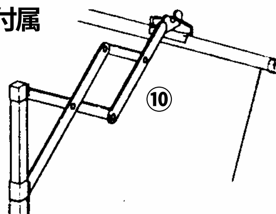
型 式	サイズ W×H (mm)	高 さ h (mm)	質 量 (kg)
PT-1212	1200×1200	1900〜2130	7.4
PT-1515	1500×1500	2200〜2590	9.6
PT-1818	1800×1800	2570〜3040	11.1
PT-2020	2000×2000	2830〜3230	12.5
PT-1212P	1200×1200	1900〜2130	8.0
PT-1515P	1500×1500	2200〜2590	10.0
PT-1818P	1800×1800	2570〜3040	11.5
PT-080V	1626×1219	2190〜2640	10.6
PT-100V	2032×1524	2500〜3040	12.6
PT-120V	2438×1829	2890〜3230	14.5
PT-080H	1771× 996	1970〜2520	11.1
PT-100H	2214×1245	2300〜2940	13.6

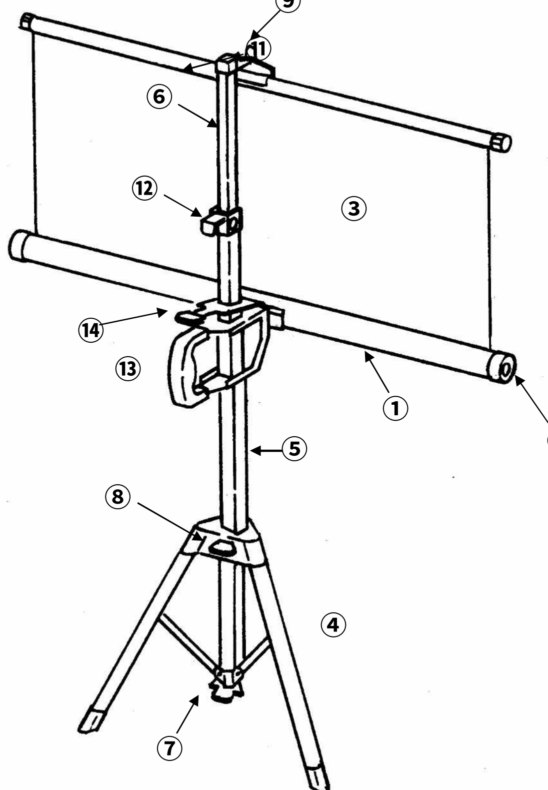
*P=伸縮金具付

※ 仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

各部名称

※PT(P タイプ)のみ付属



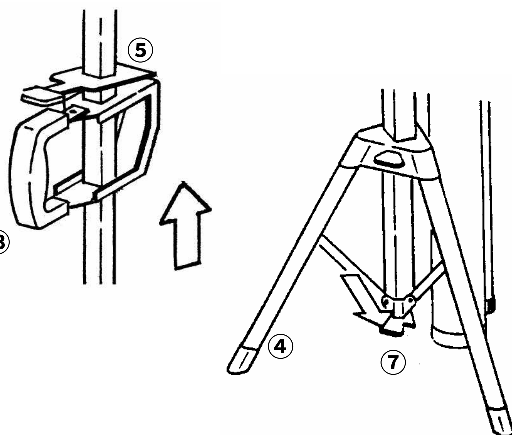


№	名　　称
①	スクリーンケース
②	キャップ
③	スクリーン
④	三脚
⑤	外パイプ
⑥	中パイプ
⑦	ペダル
⑧	三脚開閉金具
⑨	吊下金具
⑩	伸縮金具※
⑪	吊金具
⑫	プッシュボタン
⑬	ハンドル
⑭	ロックレバー

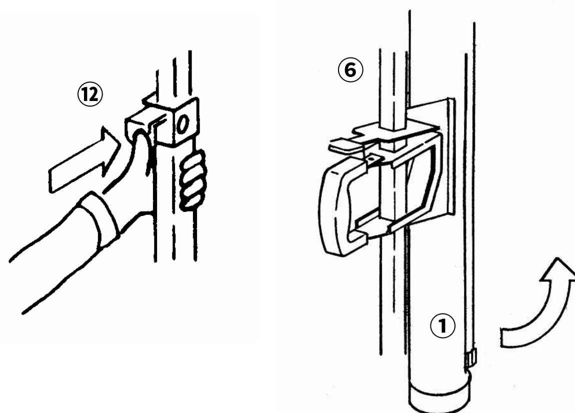
取扱要領

１．スクリーンの組み立て

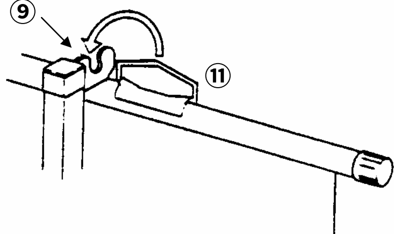
（1）外パイプ⑤とハンドル⑬を握り、全体を少し持ち上げて、ペダル⑦を下方向に踏み三脚④を開きます。



（2）プッシュボタン⑫を押し、中パイプ⑥を少し上げます。（プッシュボタン⑫がかたい場合は中パイプ⑥を少し下げて押してください。）次にスクリーンケース①を水平に回転させます。

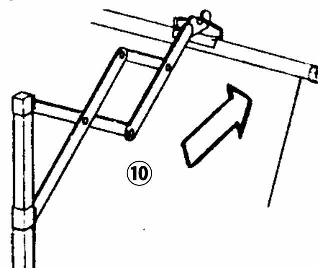


（3）スクリーンを引き出し、吊金具⑪を吊下金具⑨に掛けます。



PT(P タイプ)は、後ろより中パイプ⑥を握り、もう一方の手でスクリーン上部を押して伸縮金具⑩を所定の位置まで伸ばしてください。

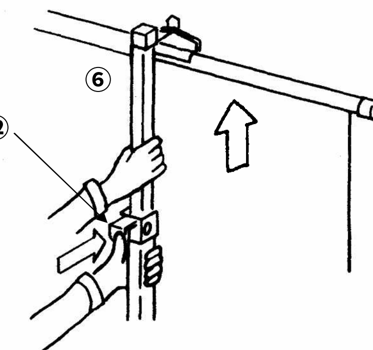
※PT(P タイプ)以外には伸縮金具⑩は付属しておりません。



2．スクリーンの高さ調整

（1） 片手でプッシュボタン⑫を押し、もう一方の手で中パイプ⑥を所定の位置まで伸ばします。

※所定の位置まで上げた時点でプッシュボタン⑫を離し中パイプ⑥がロックされるのを確認してから中パイプの手を離してください。



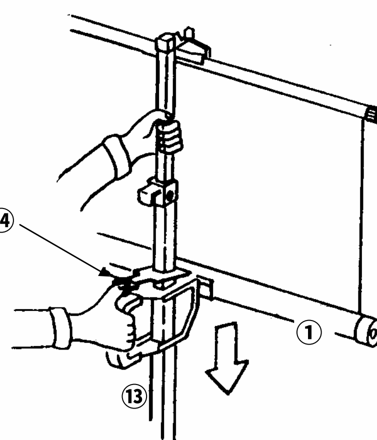
⚠ 注　意

プッシュボタン⑫を押した状態ではロックされません。ロックされていない状態で中パイプ⑥を離すと、思わぬけがの恐れがあります。

（2）片手で中パイプを握り、もう一方の手でハンドル⑬を握り、ロックレバー⑭を指で押しながらスクリーンケース①を所定の位置まで下げます。

お客様へ

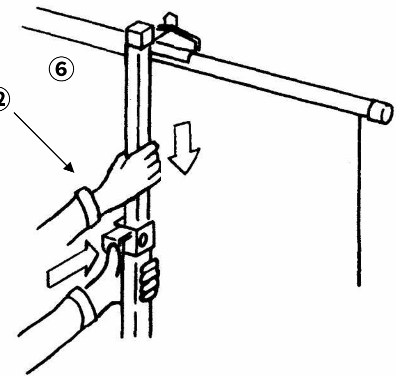
スクリーン後部にＳＴＯＰラベルを貼っておりますので、それ以上下げないでください。
スクリーンとケースが分裂してしまう恐れがあります。



３．スクリーンを収納するとき

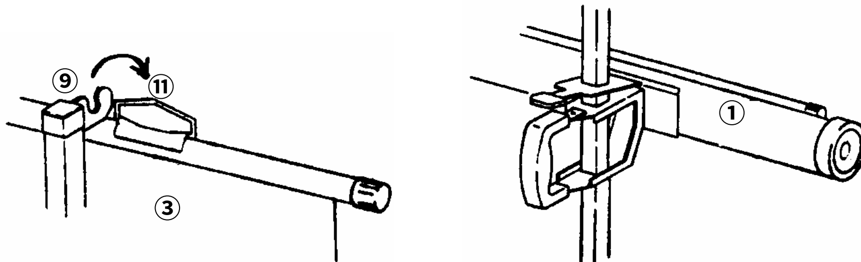
（1） 中パイプ⑥を握りながらもう一方の手でプッシュボタン⑫を押し、最後まで静かに下ろします。

※PT(P タイプ)以外には伸縮金具⑩は付属しておりません。



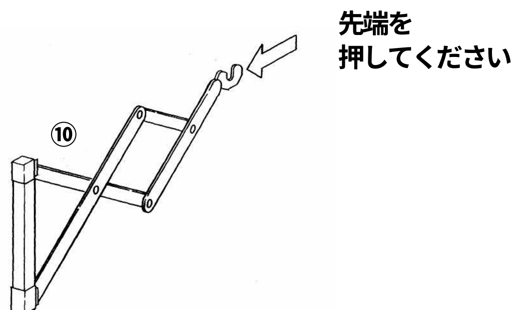
⚠ 注　意
プッシュボタン⑫を押した瞬間、かなり強い力で中パイプ⑥がおりますので、中パイプを強く握ってプッシュボタン⑫を押してください。

（2）吊金具⑪を吊下金具⑨より外し、スクリーン③をケース①に収納します。



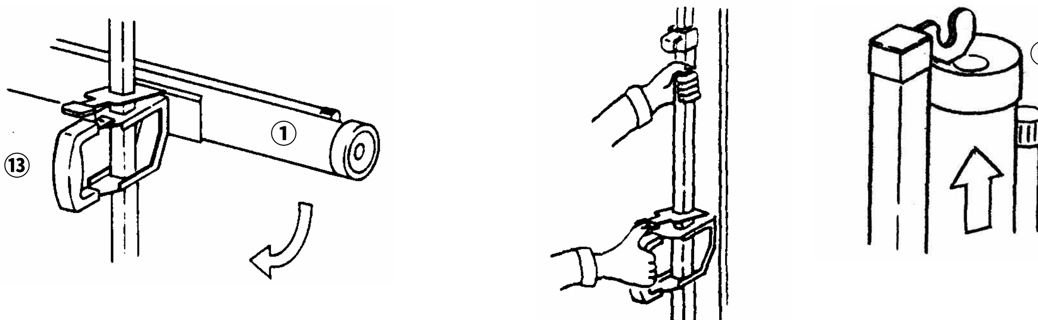
PT(P タイプ)は伸縮金具⑩を所定の位置まで収納します。

※PT(P タイプ)以外には伸縮金具は付属しておりません。

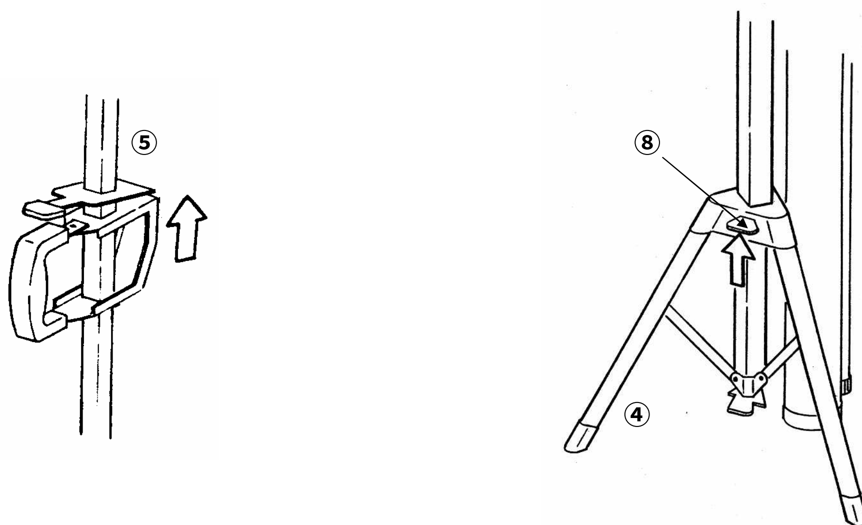


⚠ 注　意
伸縮金具⑩の収納は指をつめないように注意しながら先端部を押してください。

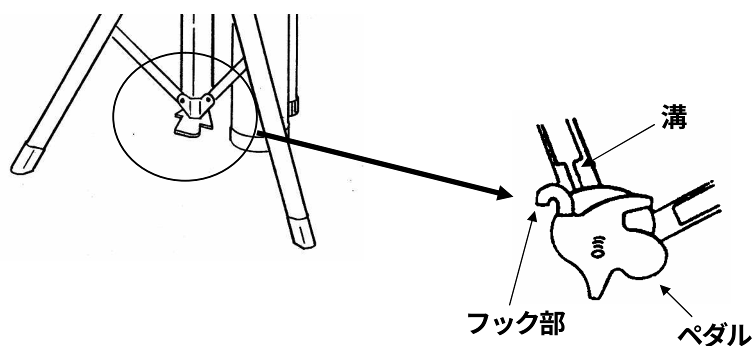
（3）スクリーンケース①を垂直に回転させます。
次にハンドル⑬を握り､スクリーンケースのキャップ②の凹部が吊下金具⑨に入る所まで上げます。



（4）外パイプ⑤とハンドル⑬を握り、全体を少し持ち上げて、三脚開閉金具⑧を引き上げ三脚④を閉じます。



※ 三脚開閉金具⑧を引き上げてもロックせずに中途半端に開いてしまう場合､ペダル⑦のフック部が溝から外れている場合がありますので、フック部を溝に合わせてください。



保証書

品名　三脚スタンド式スクリーン

ご購入 年月日	取扱店 住所／TEL

保証期間 ご購入の日より	本体　　1ヵ年

1.保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1)この保証書のご提示がない場合。
(2)保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3)ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
(4)お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5)火災や天災等による故障および損傷。
(6)消耗品および付属品の交換の場合。
(7)スクリーン表面の汚れ・損傷に関する修理。
2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。
■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。
※　この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、 取扱店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

株式会社オーエス

コンタクトセンター
〒120-0005　東京都足立区綾瀬 3-25-18
TEL：0120-380-495　FAX：0120-380-496
(受付時間：平日 9：00～18：00　※土日祝日を除く)
E-mail : info@os-worldwide.com
※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。
TEL：03-3629-5211　FAX:03-3629-5214